MS-06J ZAKU II
"WHITE OGRE"

ジオン公国軍地上用モビルスーツ
MS-06J ザク Ver.2.0 "ホワイトオーガー"
1/100スケール マスターグレードモデル

※写真の完成品は、塗装してあります。

159055

MOBILE SUIT GUNDAM MS IGLOO 2 重力戦線

すべてのガンダム・ワールドの原点であるシリーズ第1作「機動戦士ガンダム」。そこで描かれた「1年戦争」の世界を題材に、ハイディティールな3DCGで描かれた、"モビルスーツの出てくる戦争映画"。それがMSイグルーである。メカニックの質感、重量感、それらが存在する戦場のリアリティが徹底的に追及され、ドラマともども、「大人のためのガンダム」という言葉がふさわしい作品に仕上がっている。第1期シリーズ「1年戦争秘録」「黙示録0079」(計6話)がジオン軍サイドの物語を描いたのに対し、「重力戦線」は劣勢のヨーロッパ戦線から、連邦軍反攻の口火となる「オデッサ作戦」までを連邦軍視点で描く。

第1巻:「あの死神を撃て!」

STORY

U.C.0079年4月。

ヨーロッパ南方戦線のベン・バーバリー中尉は、対MS特技兵小隊指揮官。彼の任務は、ジオン軍の攻勢に撤退を余儀無くされた連邦軍のしんがりとして、対MS重誘導弾"リジーナ"を操り、ザクの進撃を遅滞させることだった。混沌とした戦場での勝ち目の薄い戦闘。これまで何人もの部下を失い「死神」とあだ名されるバーバリーの心は消耗していた。

しかし、バーバリーは部隊を率い、3機のザクを仕留めるべく戦わなくてはならない。迫り来るザクをリジーナは破壊することができるか。敗色色濃い戦場で、孤独な男の戦いが始まる。

第2巻:「陸の王者、前へ!」

STORY

U.C.0079年7月。

地球連邦軍第301戦車中隊第一小隊に、ある若い戦車兵が転属してきた。61式戦車のドライバーを務めるレイバン・スラー軍曹である。スラーがペアを組むことになった車長のハーマン・ヤンデル中尉は、第44機械化混成連隊戦車小隊指揮官。ザクの登場で過去の兵器となりつつある61式戦車を操り、迫り来るジオン軍を迎え撃つ。

そんなヤンデルには恐怖の記憶があった。ホワイトオーガーと呼ばれる白きザクとの戦い。その記憶に今もなお縛られるヤンデルは、復讐の念を燃やしている。ヤンデルはホワイトオーガーを倒すことができるのか…?

第3巻:「オデッサ、鉄の嵐!」

STORY

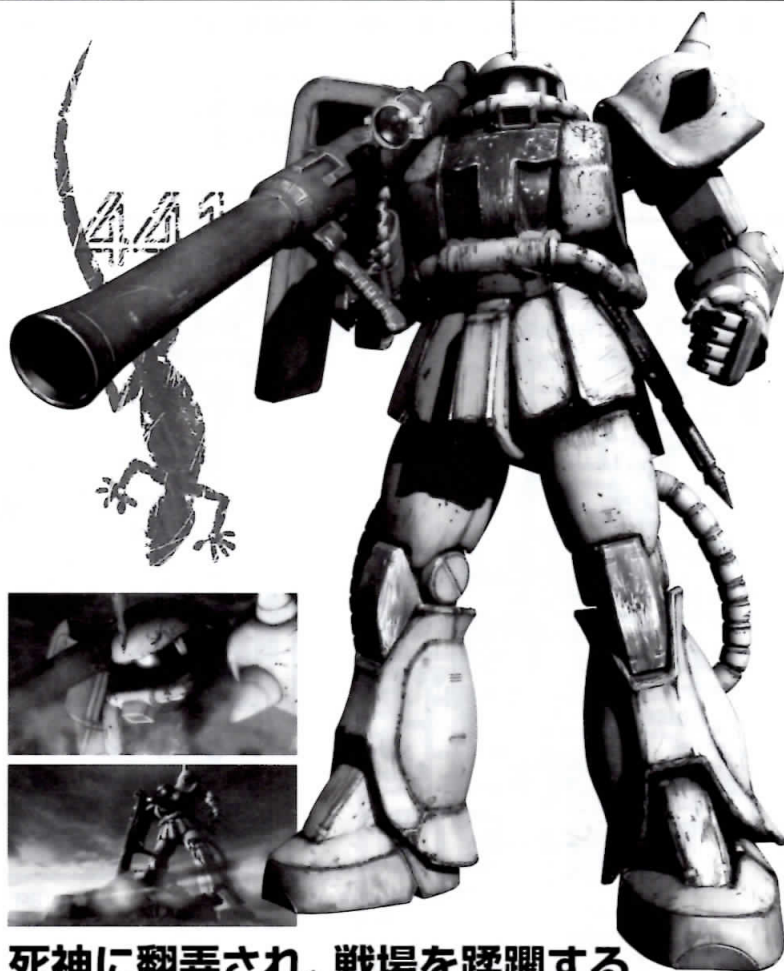
U.C.0079年11月。

月の裏側に位置するコロニー群からなるジオン公国は、天然資源の不足ゆえ、国力に乏しい。ジオン軍はオデッサ地方の鉱山群を占領・開発することで、人類初の宇宙戦争の生命線とした。そしてそれに抗うべく、連邦軍は劣勢だった戦況を挽回する大作戦として、オデッサの鉱山群奪回を掲げたのである。

アリーヌ・ネイズン技術中尉は、恋人のスパイ容疑により自らも刑務所に収監されていた。だがオデッサ作戦を前に彼女は、自らが開発に携わった陸戦強襲型ガンタンクに乗り、戦場に参加するよう命じられる。かつての恋人への怒り、進化の道を閉ざされたガンタンクの運命。宇宙世紀0079年11月、人々の想いを飲み込んで「オデッサ作戦」が始動する!

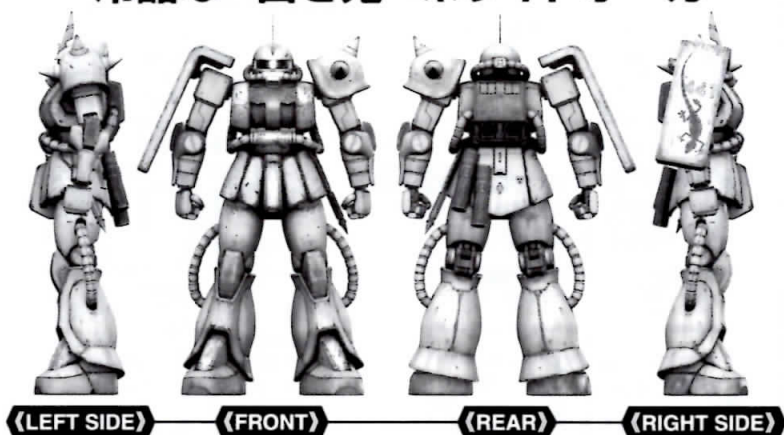
MS-06J ZAKUⅡ

MS-06J ザクⅡ
エルマー・スネル大尉機 "ホワイトオーガー"

一年戦争において、ザクは多様なアプローチによって、あらゆる環境に適応してみせた。驚くべき事に、それらの適応に要する改造や改修は、基礎設計にほとんど手を加えることなく行われていた。無論、最低限の機械工作設備や多少の調整は必要ではあるものの、各部のスラスターやセンサーユニットはおろか、冷却装備に各種のフィルター類、果てはメインジェネレーターまでもが載せ換え可能であった。この構造はF型の特徴だが、基本的にはA型やC型も同様である、逆に言えば、A型もC型も、F型に至るための試験的な先行量産機だったと言うこともできる。それぞれの局地戦用に改装された機体には、装甲形状などが異なるものも少なくないが、J型とS型に関しては、基本的に各スラスターユニットと冷却装置が換装されているのみである。例えばJ型は空冷機構を採り入れた冷却ユニットと、スラスターの燃焼室とノズルがコンポーネント化されたユニットがF型から換装されており、地球降下作戦の本格化に前後して、F型と同じ設備でJ型仕様の機体も生産された。初期のS型は、装甲材やプロペラントタンクなどの換装に多少の改造が必要だったが、後にそれらも規格化され、生産ラインも共用されている。この構造はメンテナンスにも有利に働いていた事は言うまでもない。特に、ジオン公国がいわゆる"重力戦線"を展開して以降は、制圧地域の工業施設などを活用して、MSやその他の兵器の現地生産が行われている。特に地球においては多種多様な環境に対応するため、迷彩色などを含む数多くの塗装パターンが試みられることとなった。基本的には、配備される地勢や植生に適応した彩色が施されることが多かった。しかし、例外もあった。それが"エースパイロット用"の機体である。06J型、いわゆる地上型ザクのバリエーション機を駆るエースパイロットは余り多くないが、ヨーロッパの北部地域に展開していた連邦軍の地上部隊を苦しめたのがエルマー・スネル大尉が乗る白い06J型ザクⅡである。一発必中のザク・バズーカで確実に61式戦車を撃破する手練であり、破竹の勢いで進軍する公国軍の報道にもしばしば採り上げられていた。エースの証であるパーソナルカラーは白。その鬼神のごとき闘いぶりから「白き鬼=ホワイトオーガー」と呼ばれ、未だMSの配備が無い連邦軍地上部隊の兵士から恐れられていた。頭部とシールドにはパーソナルマークのトカゲが描かれている。

地上戦のパラダイムシフト

U.C.0079年に勃発したジオン独立戦争(後に「一年戦争」と呼ばれる)は、電撃的なコロニー落としと、MSザクの出現、それに伴う戦争のパラダイムシフトによって、地球連邦政府を降伏寸前まで追い込んだ。しかし、連邦政府は結局一ヶ月あまりで徹底抗戦の方針を採択し、ジオン公国は対抗措置として地球侵攻を敢行する。MSの威力は地上においても圧倒的で、瞬く間に地球上の多くの領域を制圧した。効果的な対抗兵器を持たない連邦軍は、それでも数ヶ月に及ぶ抗戦を続けつつ、戦況は膠着状態に陥った。それまでの期間に戦闘状態は散発的に起きており、戦線は活発に移動していた。特に、ヨーロッパ戦線は激戦区のひとつであり、U.C.0079年夏までに連邦軍はドーバー海峡まで追い込まれていた。公国軍は、中央アジアに一大拠点を築き上げ、物資輸送と資源採掘を進行させていた。人体を10倍した様な巨大な人型の機動兵器は、いわゆる陸戦においても非常に有効であり、既存の兵器は、その巨体の前に、なす術も無く翻弄されていた。しかし、それでも連邦軍には圧倒的な物量があり、通常兵器であっても、それなりの戦い方が出来ると言うノウハウが確立されて行く過程でもあったのである。

死神に翻弄され、戦場を蹂躙する
冷酷な"白き鬼=ホワイトオーガー"

《LEFT SIDE》 《FRONT》 《REAR》 《RIGHT SIDE》

MS-06J ZAKUⅡ "WHITE OGRE" SPEC

頭頂高:17.5m/本体重量:56.2t/全備重量:74.5t/ジェネレーター出力:976kw
装甲材質:超硬スチール合金
武装:120mmザク・マシンガン、ザク・バズーカ、ヒート・ホーク、バズーカ用予備弾ケース、Sマイン
パイロット:エルマー・スネル

120mmザク・マシンガン

ザク・バズーカ

⚠ 注　意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

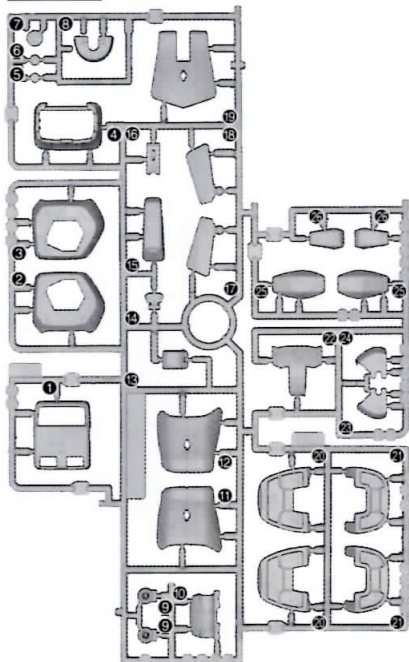
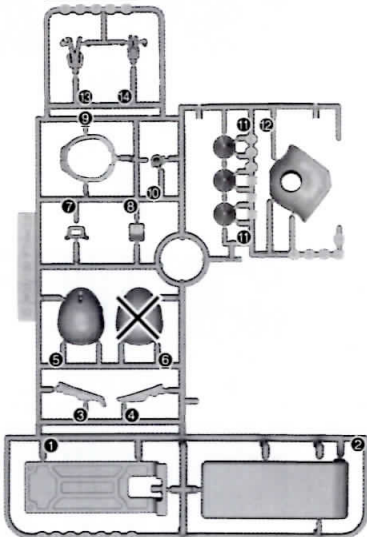
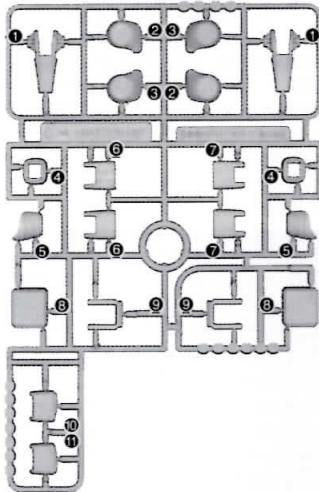
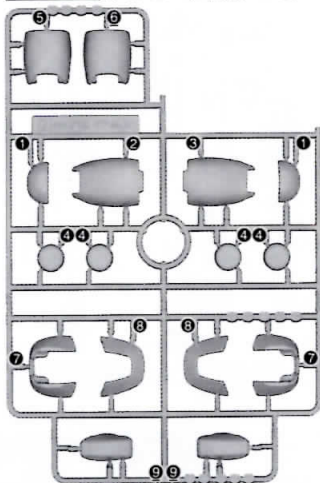
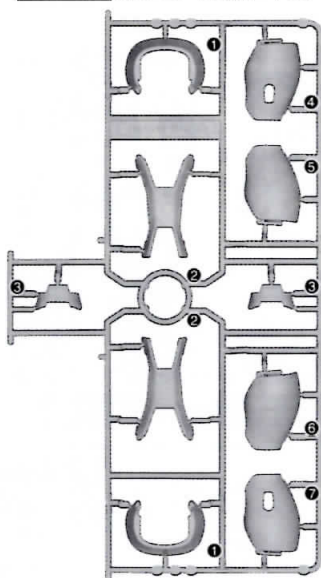
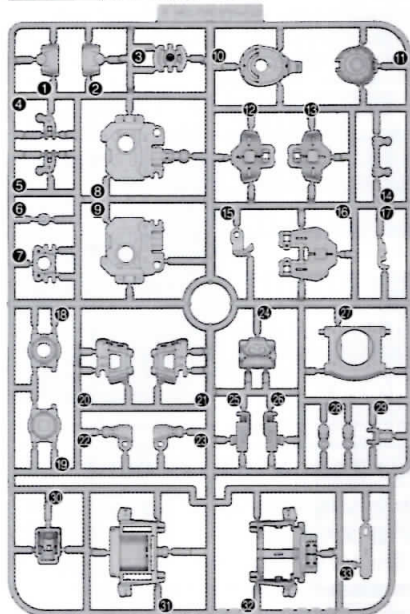
〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

パーツリスト

（✕印は使用しないパーツです。）

Aパーツ（スチロール樹脂：PS）

Bパーツ（スチロール樹脂：PS）

Cパーツ（スチロール樹脂：PS）

Dパーツ（スチロール樹脂：PS）

Eパーツ（スチロール樹脂：PS）

Fパーツ（ABS樹脂：ABS）

Gパーツ (ABS樹脂：ABS)

Hパーツ (ABS樹脂：ABS)

Iパーツ (スチロール樹脂：PS)

Jパーツ (スチロール樹脂：PS)

Kパーツ (スチロール樹脂：PS)
(ポリエチレン：PE)

Lパーツ (スチロール樹脂：PS)

Pパーツ
(スチロール樹脂：PS)

PC-200
(ポリエチレン：PE)

マーキングシール……………1枚
ガンダムデカール……………1枚
パイプスプリング……………2本

《お買い上げのお客様へ》部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書(**裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。**)にて下記までお申し込みください。なお、やむをえず部品注文カードをご使用できない場合には発送が遅れる場合がございます。ご了承ください。又、部品注文カードはコピー(拡大含む)での使用も可能です。代金は、料金表通りです。定額小為替は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時には残額をお返しいたします。また、在庫がない場合には注文をお断りする場合がございます。その際は、お送り頂きました代金(為替)を返送いたします。但し、それ以外に掛かった手数料等は、お客様負担になりますので、ご了承の程、何卒よろしくお願い致します。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用いたしません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくはhttp://bandai-hobby.netより▶お客様へ▶相談センターのお知らせ▶「■部品が必要になったらこちらのページをご覧ください。」をご参照ください。

■申し込み先　(株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12　TEL 054-208-7520

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。K・Pパーツはランナー単位での販売です。

部品番号	取扱説明書	デカール類	Kパーツ	Pパーツ	その他
部品代	150円	各40円	600円	320円	各40円
郵送料	200円	80円	140円	120円	120円

・電話受付時間 月～金曜日
（祝日を除く）10時～16時
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようにご注意ください。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

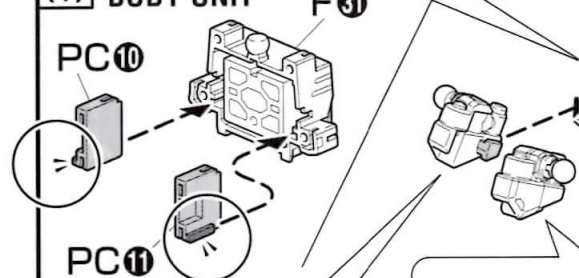
部品注文カード　0159055
1/100SCALE MGシリーズ
MS-06J ザクVer.2.0 ホワイトオーガー
必要な部品の記号·番号·数量をかく

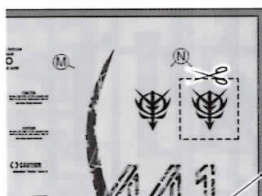
●注文された理由(○で囲む)(こわした·なくした)
·日中ご連絡可能な電話番号　·年齢
(　　-　　-　　)(　　才)
R2071485　'09.06

2009.06/T・ON
※コピー使用可

組み立て前の基本説明

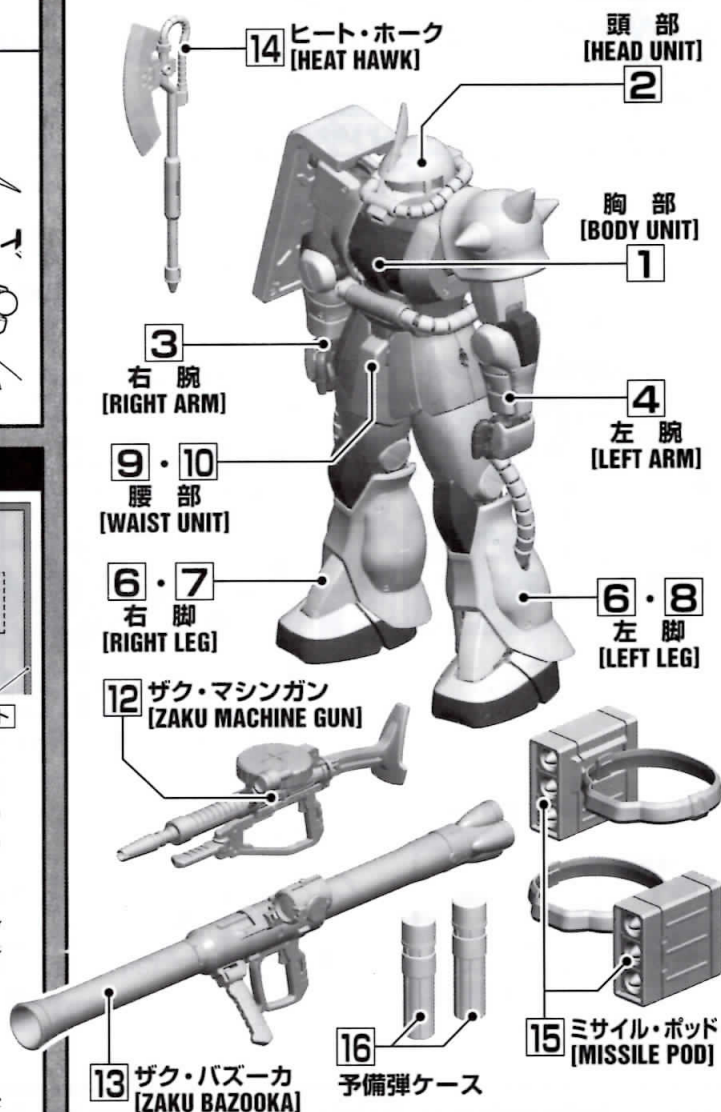
部品の向きに注意してください

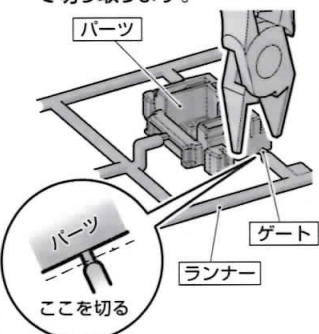
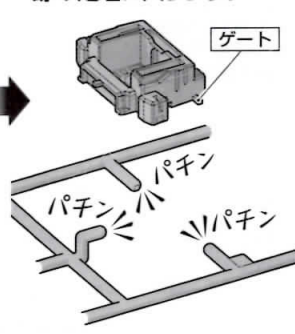
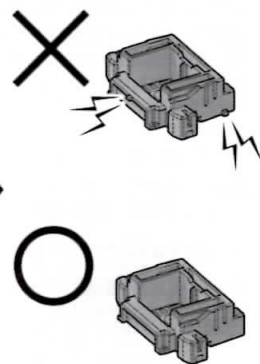
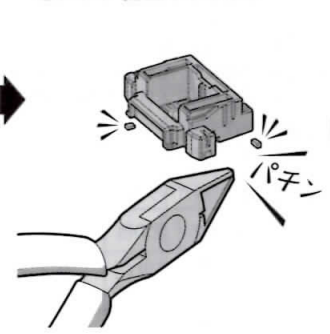
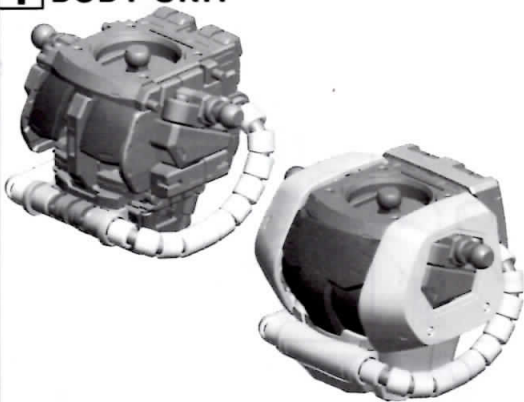
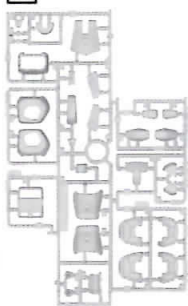
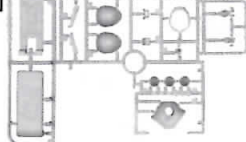
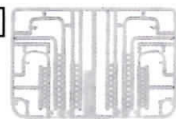
※組み立て図中に〃のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。

ガンダムデカールの貼りかた

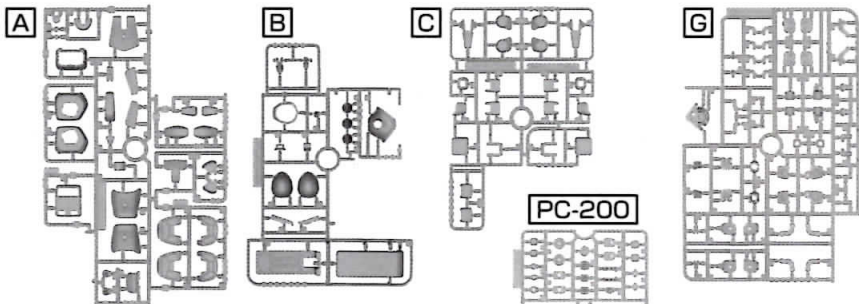
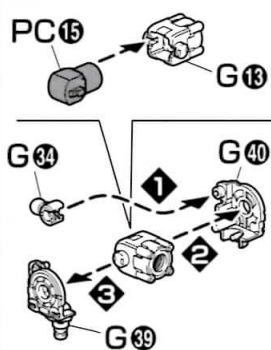
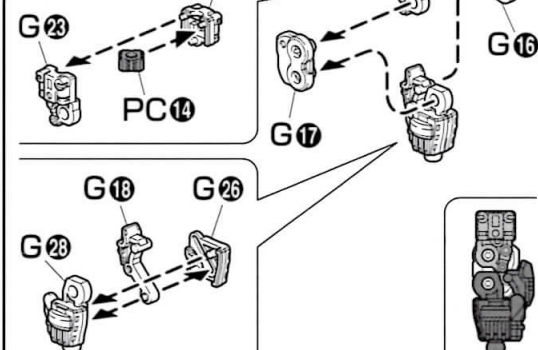
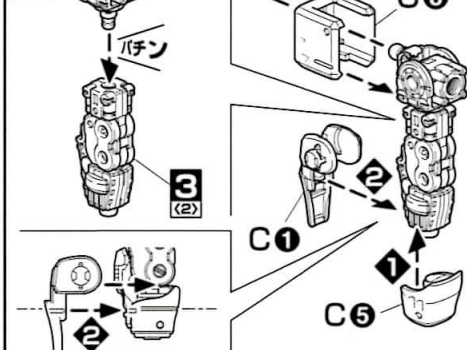
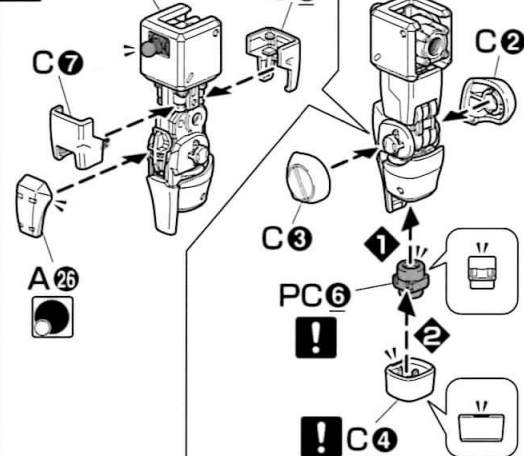
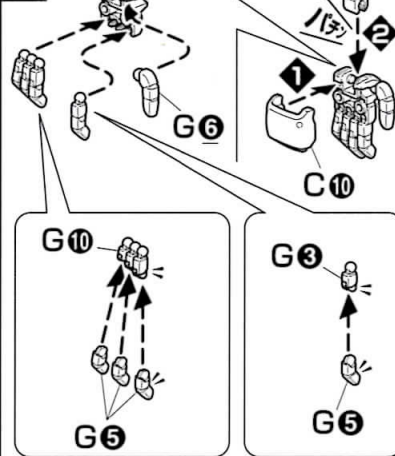
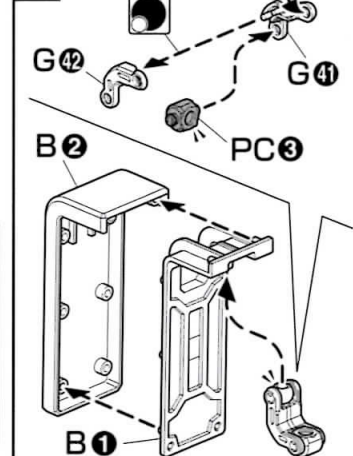
❶ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

❷保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

❸シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう

パーツの切り取りかた

❶まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。

❷パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

❸ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。

1 BODY UNIT
・組立 1 で使用するパーツ
A
B
I
K
F
PC-200
1 〔胸部の組立〕
〈1〉 BODY UNIT
F㉛
PC⑩
PC⑪
F㉒
F㉘
F㉖
F㉓
F㉕
※奥までしっかりと、はめ込みます。
※奥までしっかりと、はめ込みます。
1 〈2〉
F㉜
F㉝
F㉚
B⑭
F㉗
A㉓
※この部分に
差し込む。
A㉒
A㉔
1 〈3〉
F⑲
PC⑧
F㉑
F⑳
F⑱
※F⑱・F⑲は、ピンを切り取らない
ように注意してください。
1 〈4〉
※K③・K⑥は以下の手順で組み立ててください。
K③（K⑥）
※パイプを図の位置まで一個ずつ
向きを確認しながら移動します。
（最後に切り取る）
※K⑥も同様に組み立ててください。
1 〈5〉
K③
A⑨
1 〈6〉
K⑥
A⑨
※組立図中の
記号説明
向きに注意して
組み立てる
切り取る
部分
後から
組み立てる

1 〈7〉
1 〈3〉
1 〈6〉
1 〈5〉
A⑩
A④
1 〈8〉
PC⑨
I⑤
I⑦
I⑥
×2
1 〈9〉
1 〈7〉
1 〈8〉
F㉔
A②
A①
A③
2 HEAD UNIT
・組立2で使用するパーツ
A
B
K
F
PC-200
・マーキングシール
2 〔頭部の組立〕
〈1〉 HEAD UNIT
F②
F③
PC①
F①
※F⑥は、ピンを切り取らないように注意してください。
A⑥
F⑥
F⑩
パチン
2 〈3〉
※K②・K⑦は以下の手順で組み立ててください。
K②（K⑦）
※パイプを図の位置まで向きを確認しながら一個ずつ移動します。
（最後に切り取る）
※K⑦も同様に組み立ててください。
2 〈2〉
F⑪
A⑧
2 〈1〉
B⑨
B⑩
※組立図中の記号説明
シールの番号
後から組み立てる
向きに注意して組み立てる
切り取る部分
部品を数値の個数作ります

2 〈4〉
※左右に注意して
組み立ててください。
2 〈3〉
K❷
K❼
B❽
2 〈2〉
2 〈5〉
B❹
B❺
B❸
B❼
2 〈4〉
3 4 ARM UNIT
・組立3・4で使用するパーツ
A
B
C
G
PC-200
3 〔右腕の組立〕
〈1〉 RIGHT ARM
PC⓯
G⓭
G㉞
G㊵
G㊴
3 〈2〉
G㉑
G㉓
PC⓮
G⓰
G⓱
G⓲
G㉖
G㉘
3 〈3〉
3 〈1〉
パチン
3 〈2〉
C❽
C❶
C❺
3 〈4〉
3 〈3〉
C❻
C❼
A㉖
C❷
C❸
PC❻
C❹
3 〈5〉
G⓬
G❽
パチン
G❻
C❿
G❿
G❺
G❸
G❺
3 〈6〉
PC❷
G㊷
G㊶
PC❸
B❷
B❶
※組立図中の記号説明
向きに注意して組み立てる
どちらかを選んで取りつける
後から組み立てる

MS IGLOO 2 VOL.2 PHOTO STORY

『俺の故郷(ふるさと)…満月が紅い…フフフ…俺には判る、これは罠だ!!』

※写真はイメージです。

U.C.0079年7月25日。ドーバー海峡に背水の陣を敷く地球連邦軍戦車大隊は、ジオン公国軍のノイエン・ビッター大佐が南進し、MSが出払った隙を突いて公国軍の拠点に進撃を開始する。その時、座乗する61式がエンジンストールを起こしたため、ハーマン・ヤンデル中尉の率いる第一小隊は置いてけぼりをくらう。はたして、"空き巣"に入ったはずの連邦軍戦車大隊は、ホワイトオーガー部隊の返り討ちに遭ってしまう。その夜、ヤンデルの具申を容れたコレマッタ少佐は特別部隊を編成する。"連邦軍の高官がお忍びで視察に来る"という偽情報に乗せられたホワイトオーガーの所属部隊が夜陰に乗じて進撃する。白きザクを駆りながら、エルマー・スネル大尉は"真の敵"を嗅ぎ付けていた。「…フフフ、俺には判る、これは罠だ。目標には敵は居やしない」と、突然、ホワイトオーガーが擱座する。「俺の運命を変える敵は…途中で待ち伏せている!!」一方のヤンデルは、昼間の激戦の残骸が未だ煙をたなびかせる荒野に陣を張っていた。連邦の罠を察知したホワイトオーガーもまた、その対岸に佇んでいた。「敵は見当たりません」「いいやァ、俺には判る。本当の敵の、そのわずかな息づかいが聞こえる!!」と、ヤンデルの特別部隊が一斉に砲撃を開始した。「やはり居たかッ!!」快哉を叫ぶスネル。「敵は61、2個小隊!!」「8輌かっ、行くぞ!!」小隊の2機のザクがすかさず反撃のマシンガンを撃つ。ホワイトオーガーのバズーカが61式を蹴散らす。月明かりの荒野に砲火が敵然と交錯する!!

MS IGLOO 2 VOL.2 ARMS & SOLDIER PROFILE

DRIVER

レイバン・スラー軍曹

第301戦車中隊 第1小隊に転属してきた補充兵。ヤンデルの61式戦車の操縦手を担当する。ヤンデルの背後にとり憑いた「死神」の存在を見る。彼は"ホワイトオーガー"との戦いの結末を見届ける事となる。

GUNNER

ハーマン・ヤンデル中尉

ヨーロッパ戦線を構成する第44機械化混成連隊第301戦車中隊第1戦車小隊の指揮官。部隊内で「死神」とあだ名される61式戦車5型の車長兼砲手。"重力戦線"展開の初頭に白きザク"ホワイトオーガー"に遭遇。復讐を誓う。

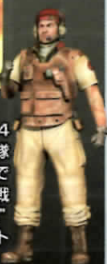
MS-06J

ザクII（ホワイトオーガー）

トカゲをパーソナルマークとするエルマー・スネル大尉の地上型ザク。ヨーロッパ北部地域に展開する連邦軍地上部隊に多大な損害を与えている。その外観から"白き鬼=ホワイトオーガー"と呼ばれ、連邦軍兵士に恐れられている。

MS-06J

量産型ザクII

MS-06J ザクII。いわゆる"地上型"ザク。基本仕様である06F型から空間戦闘用の装備を取り外し、ジェネレーター周りの空冷構造化改装や防塵対策を施した改装機。"重力戦線"展開後は地上で生産された機体も多い。

TYPE-61 5+

61式戦車5型

U.C.0061年に制式採用された連邦軍のMBT（Main Battle Tank=主力戦車）。「2連装155ミリ滑腔砲装備」を基本仕様とする。マイナーチェンジと近代化改装を繰り返しており、無数のバリエーションが存在する。

CAPTAIN

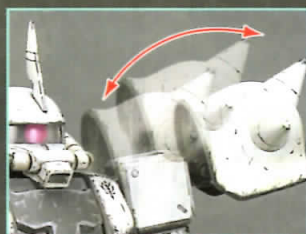
ミケーレ・コレマッタ少佐

地球連邦軍第44機械化混成連隊大隊指揮官。当面の難敵である"ホワイトオーガー"への対抗措置として、復讐に逸るヤンデルの具申を採用。特別部隊を編成してヤンデルをその指揮官に任命する。

MS-06J ZAKU Ⅱ "WHITE OGRE"

エルマー・スネル大尉が乗る白いザクⅡJ型は、連邦軍の地上部隊からその鬼神のごとき闘いぶりで「白き鬼=ホワイトオーガー」と呼ばれた。

▶ 指揮官機は頭部にブレードアンテナが装備されており、通信系のモジュールも強化されている。

▶F型から発展したJ型のスラスターユニットは、重力下仕様に改良が施されている。

▲ショルダーアーマーは激突時の衝撃を軽減するためにインナーフレームを内蔵。また、サポートアームが可動し、交換時やシールドとの換装時には容易に脱着が可能である。

▶アームユニットは人体に近い可動構造が与えられ、あらゆる武装・状況に対応できるよう設計されている。

▲各武装は、機体各部のウエポンラッチにマウントが可能。

▲ 地上走破性を考慮に入れたシリンダー機構は接地性能の向上につながっている。

WEAPONS

ZAKU BAZOOKA
ザク・バズーカ

ザクの使用する大型火器。口径は280mmを誇り、開戦当初はMSを持たない地球連邦軍に対して、その威力は絶大であった。装弾数の少なさをカバーする為に、予備弾ケースを携行した。

120mm ZAKU MACHINEGUN
120mmザク・マシンガン

ザクの武装として最もよく知られる、120mmマシンガン。大口径でありながらも、装弾数が多い点が特徴。制圧力と信頼性を買われ、他系列のMSも装備する事があった。

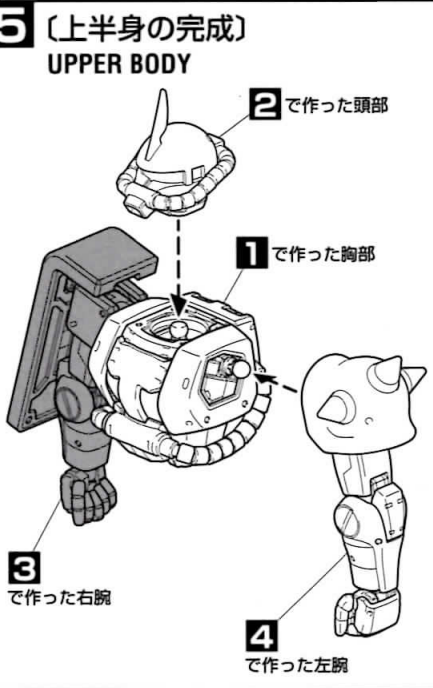
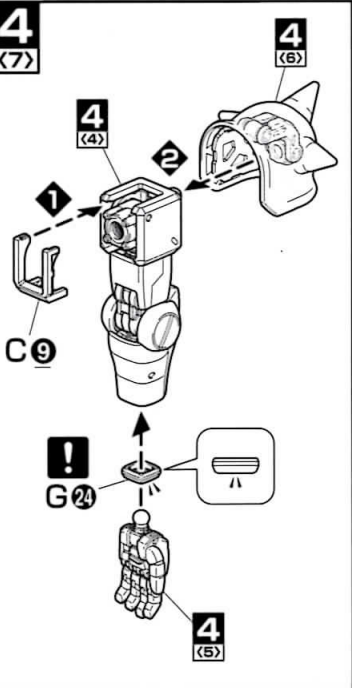
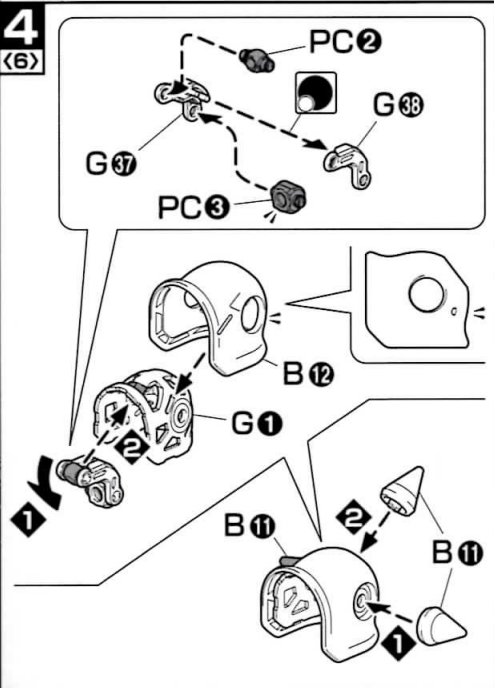
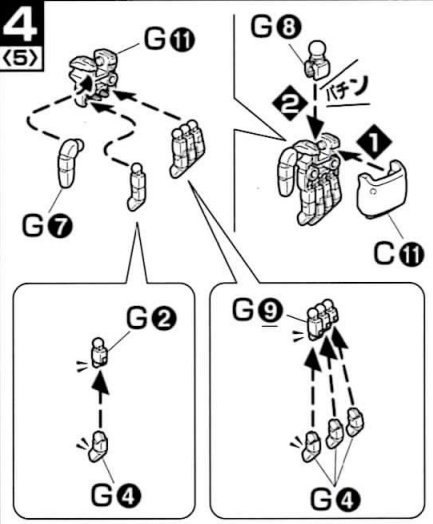
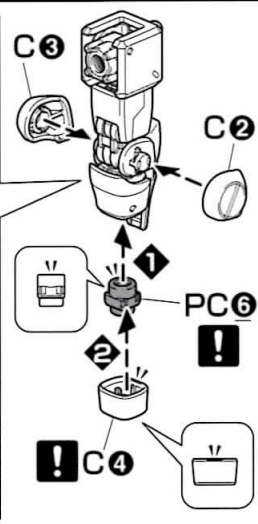
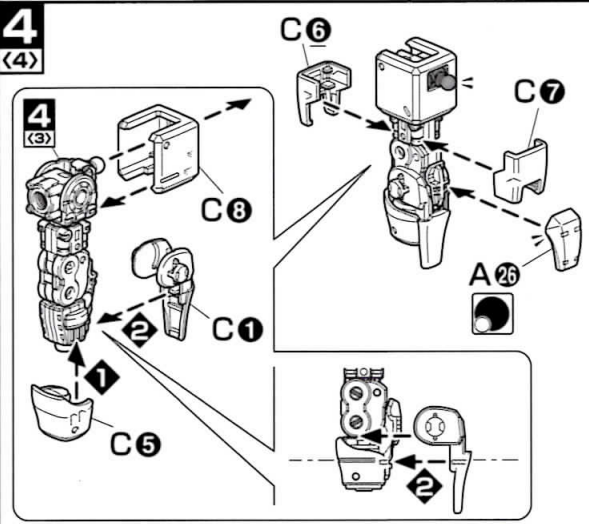
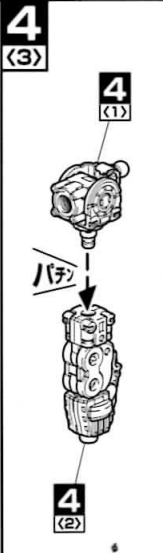
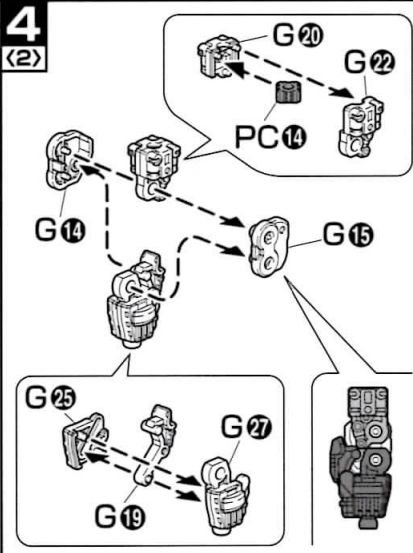
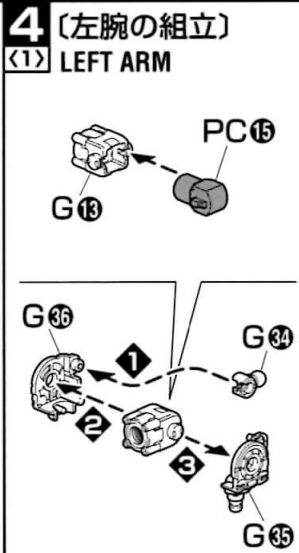
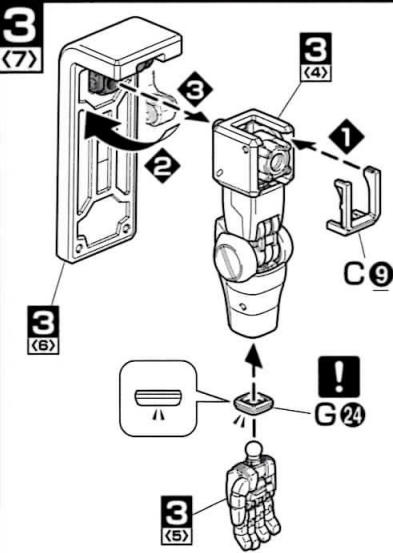
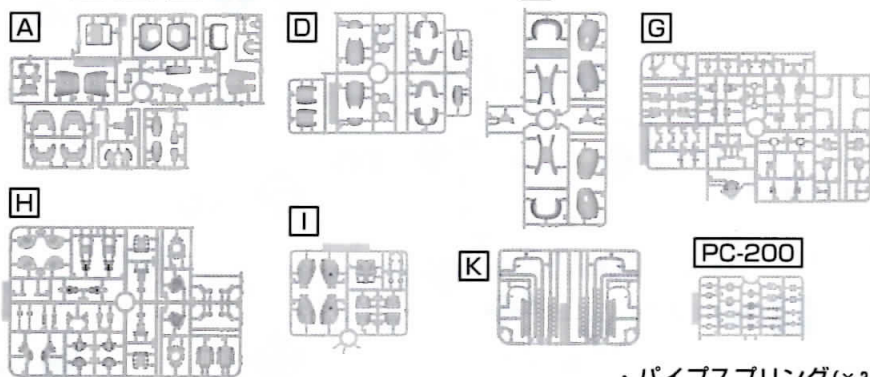
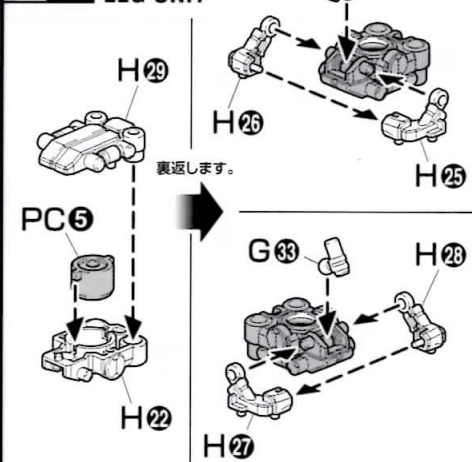
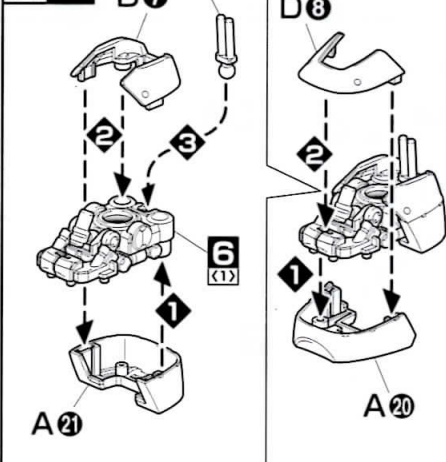
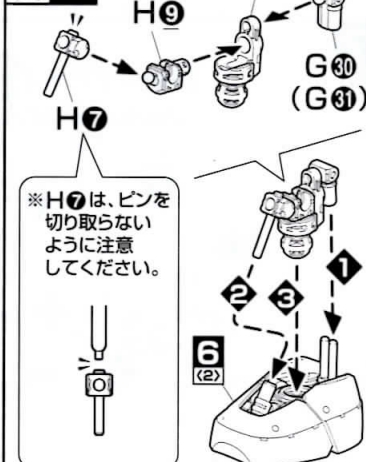
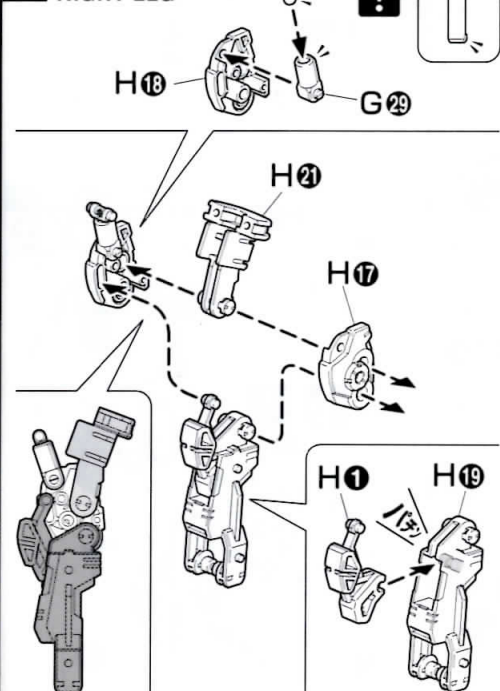
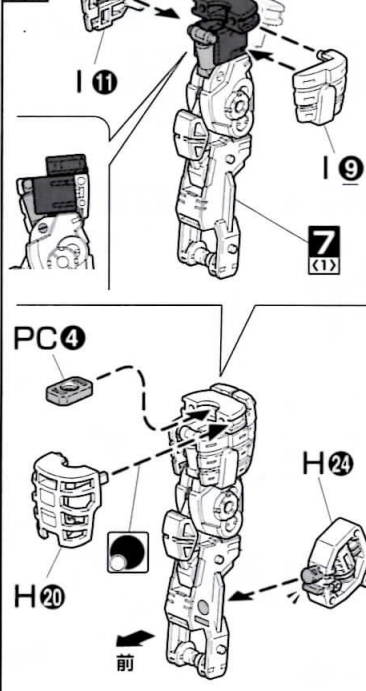
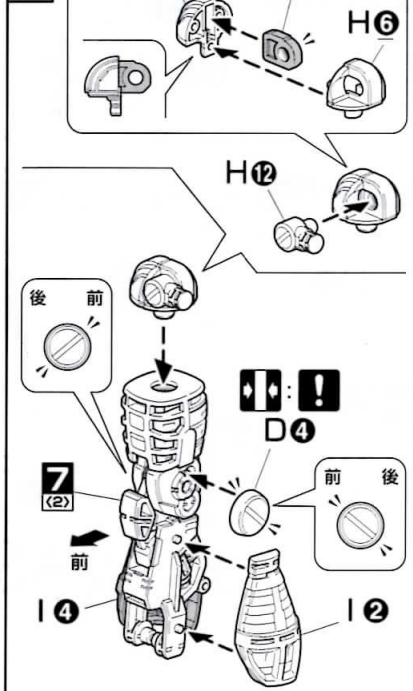
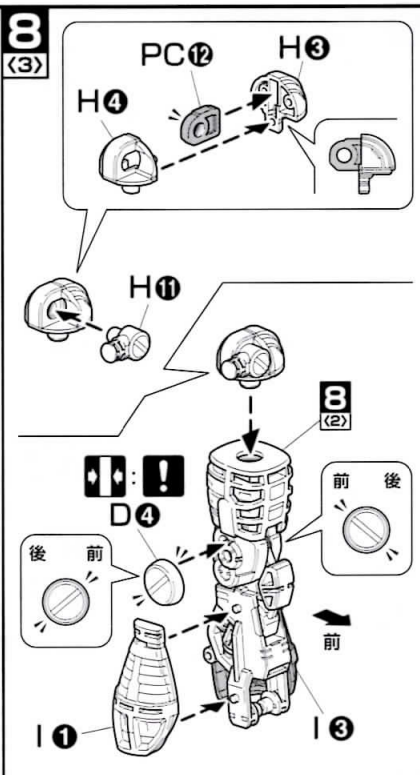
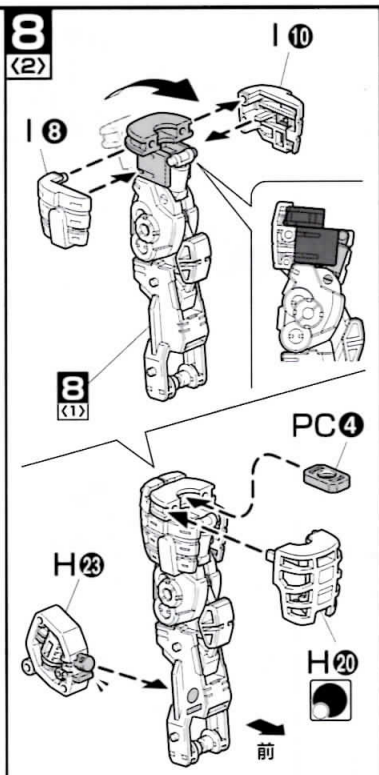
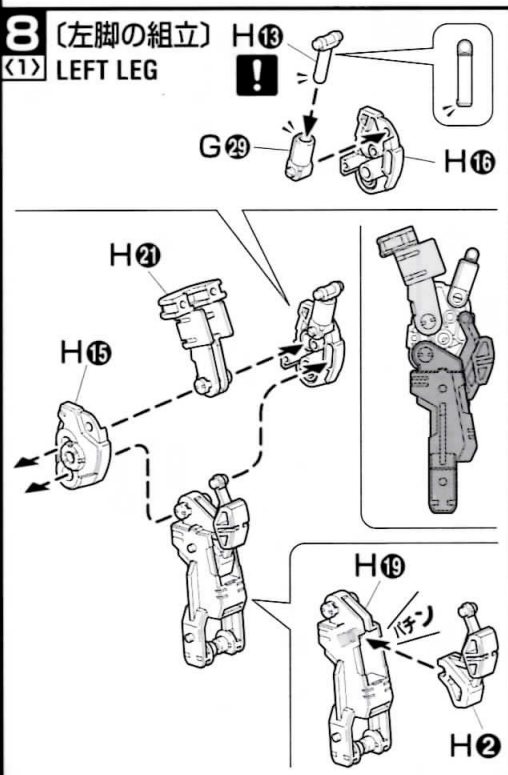
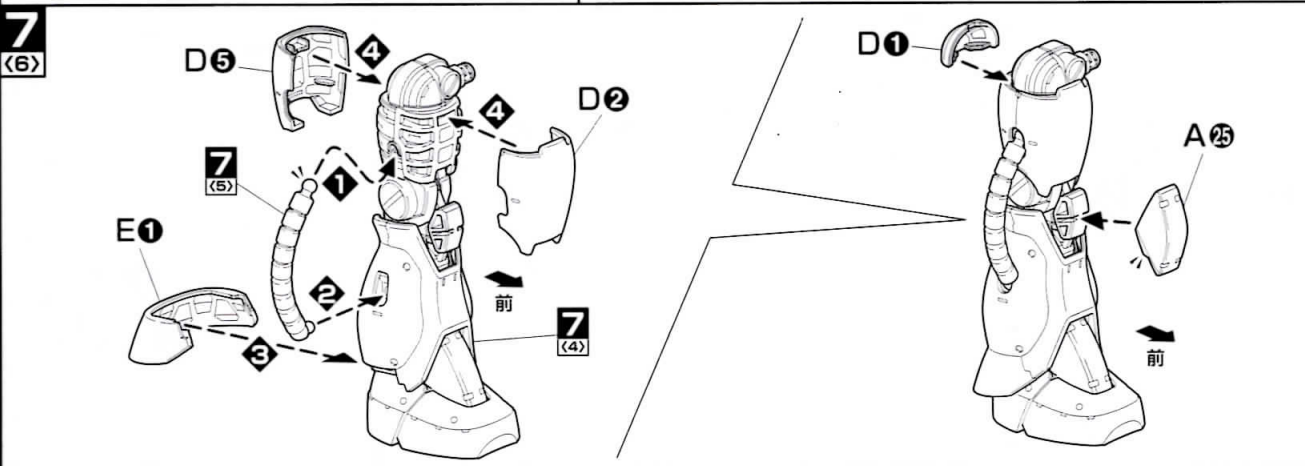
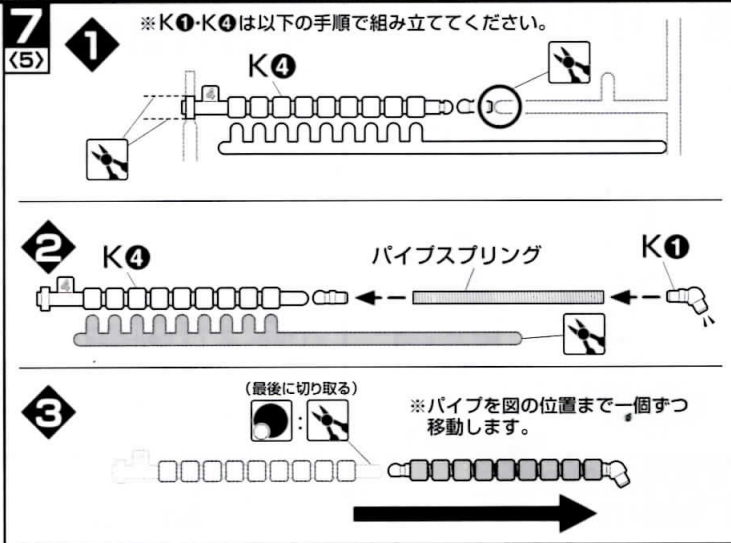
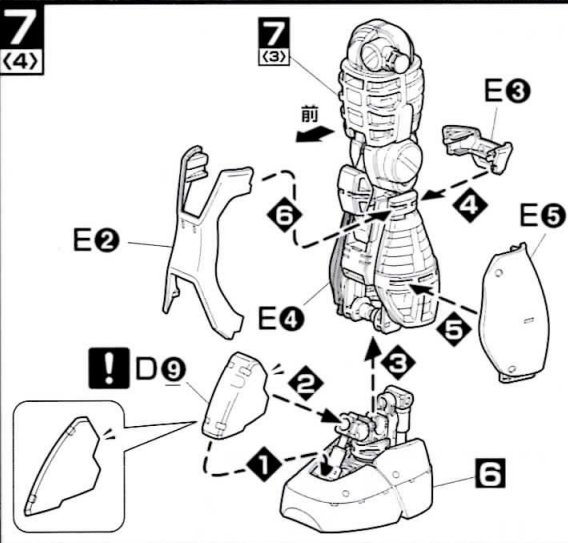
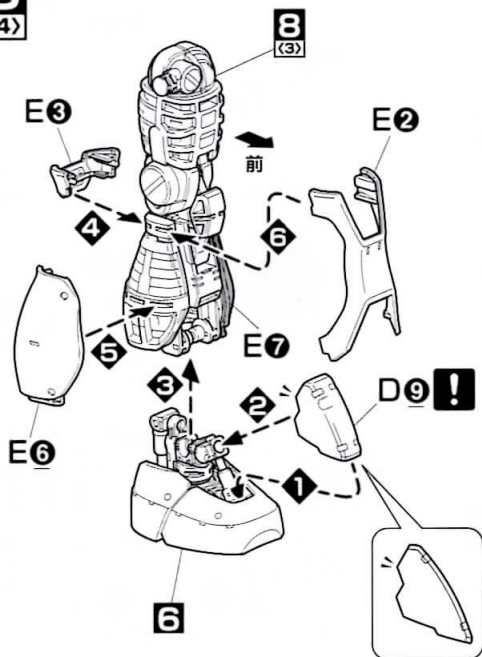
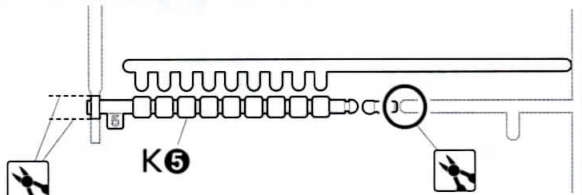
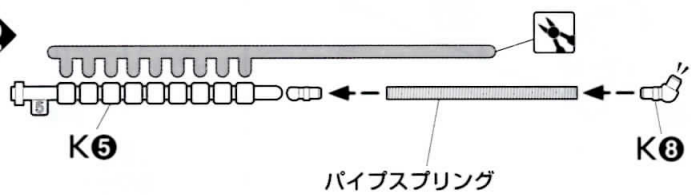
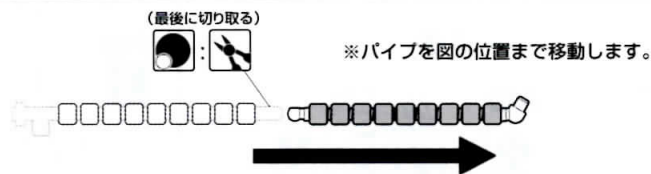
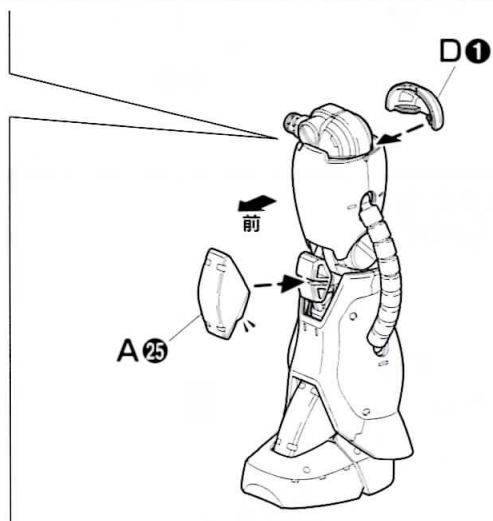
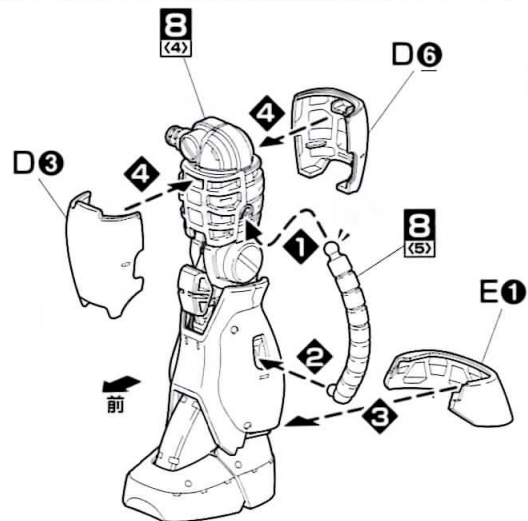
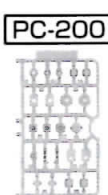
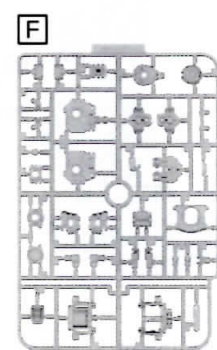
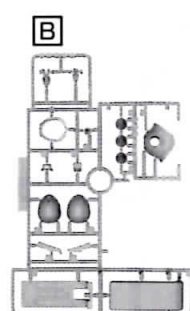
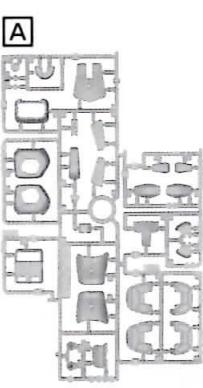
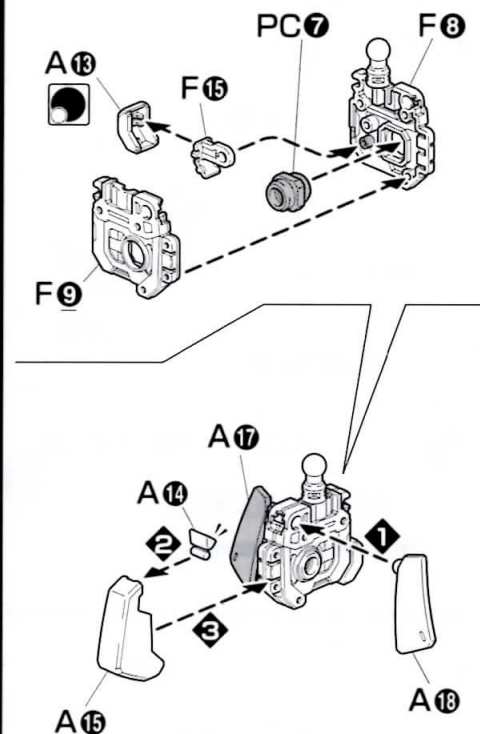
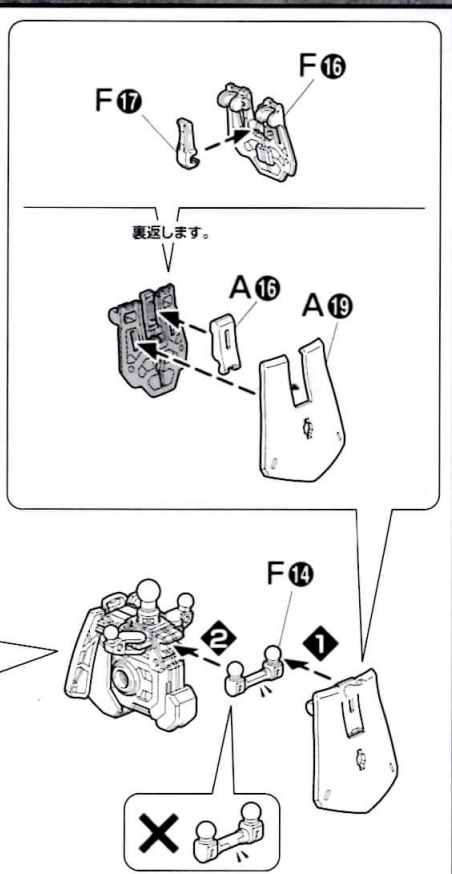
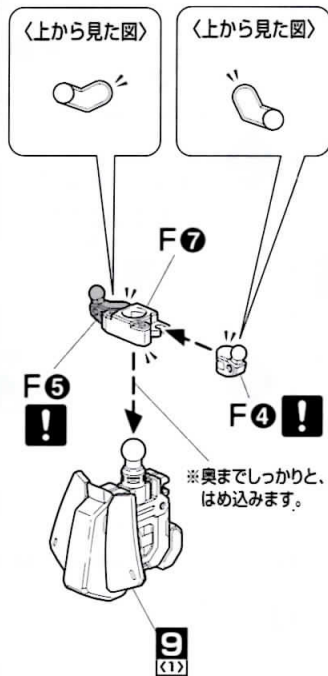
HEAT HAWK
ヒート・ホーク

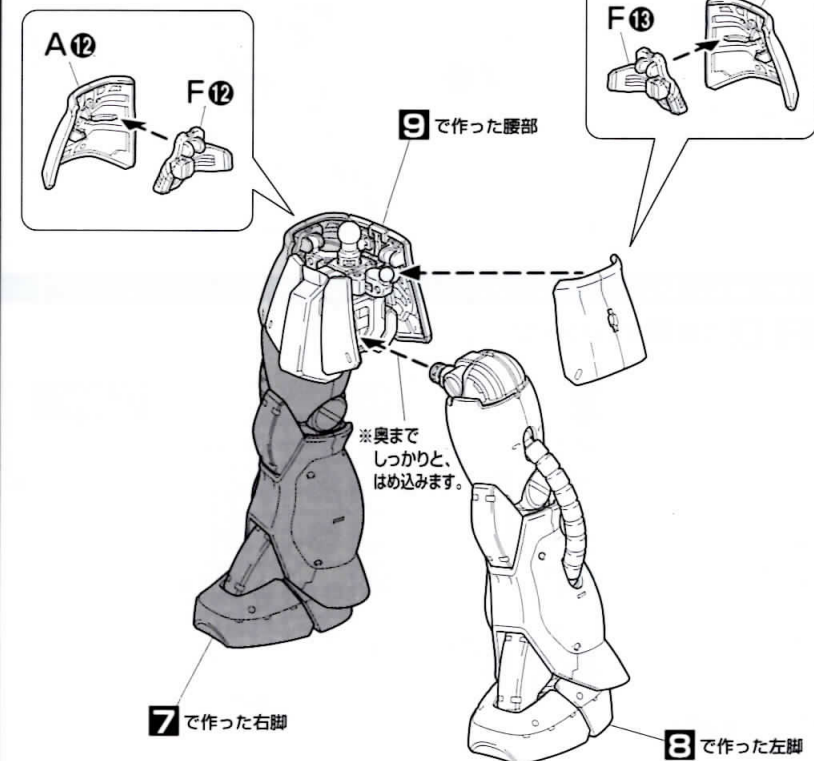
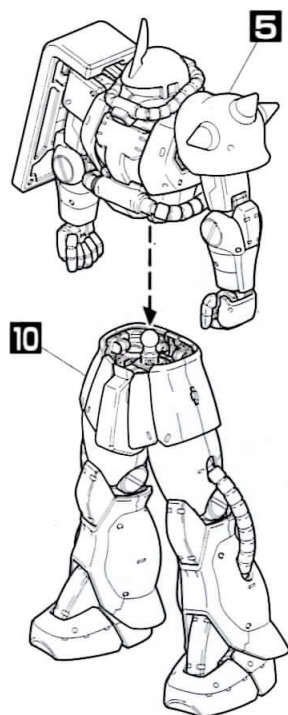
白兵戦用の武器、ブレード部分が赤熱化し、敵の車両や施設を溶断する。消費電力が小さいため、ジェネレーターへの負担が少なく、低出力機でも使用が可能。

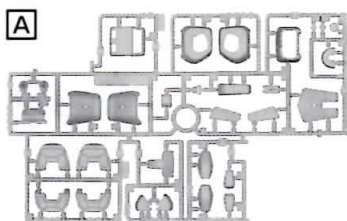
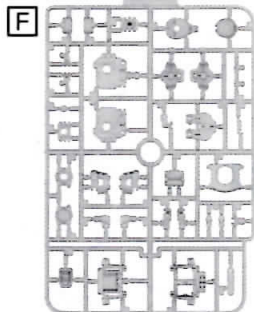
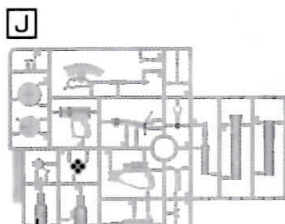
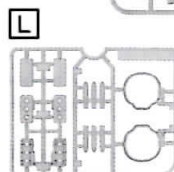
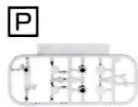
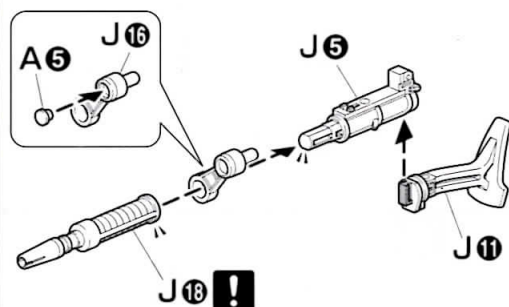
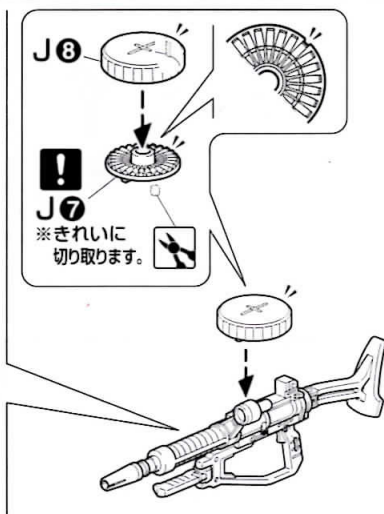
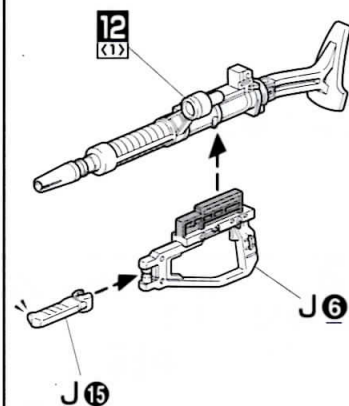
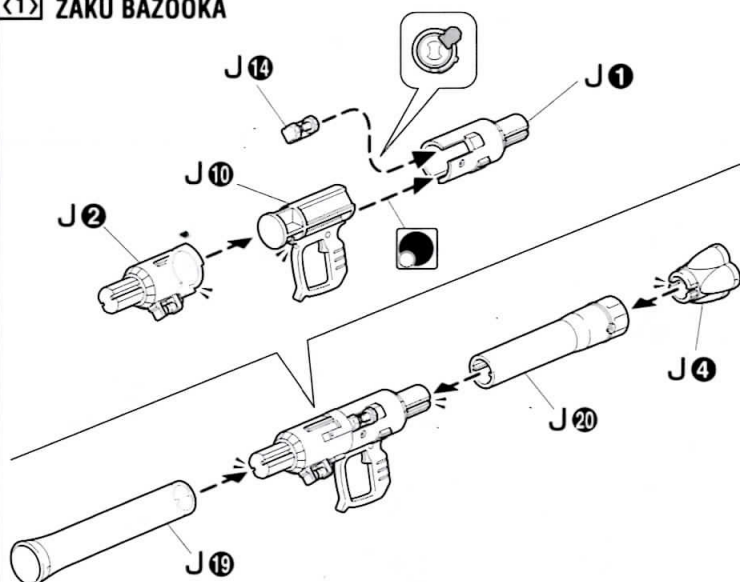
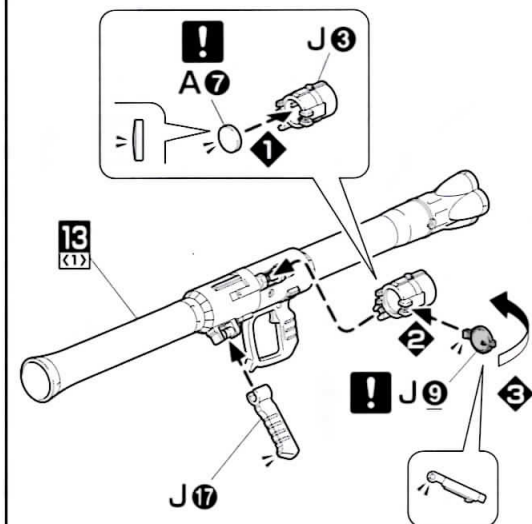
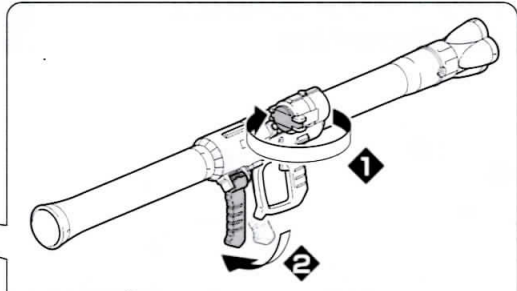
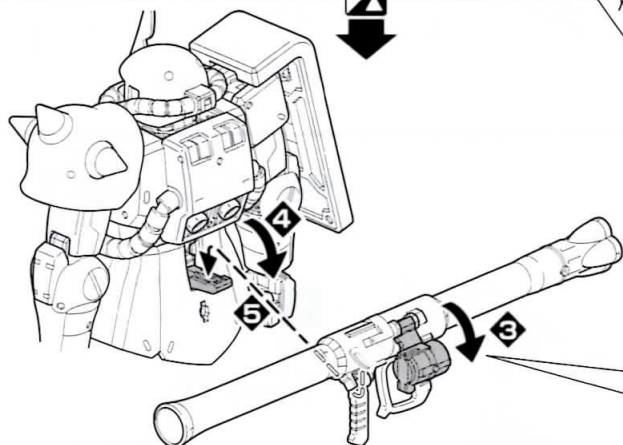
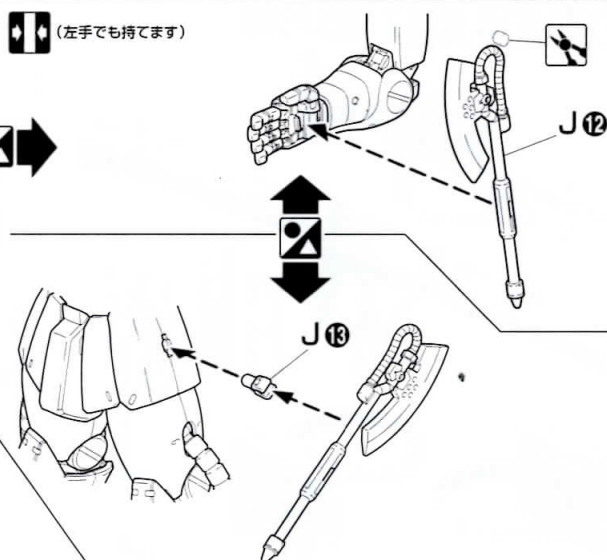
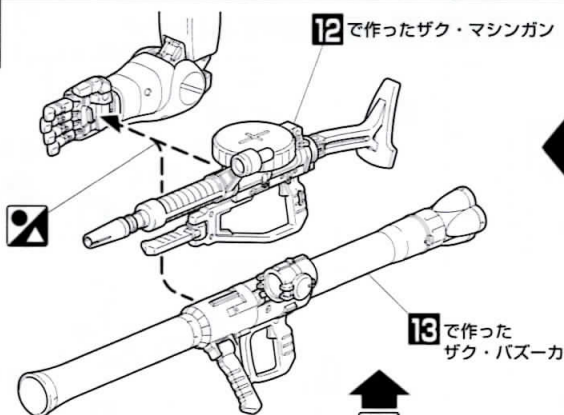
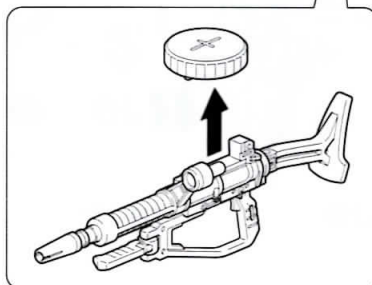
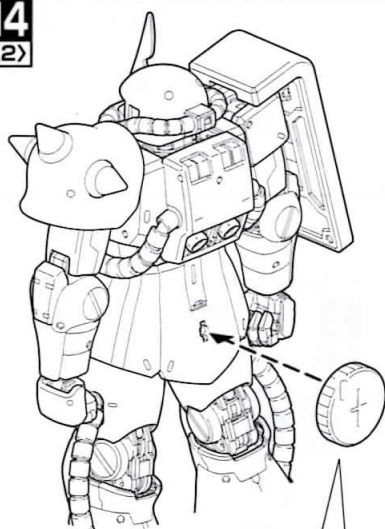
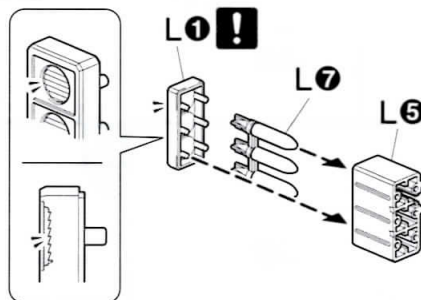
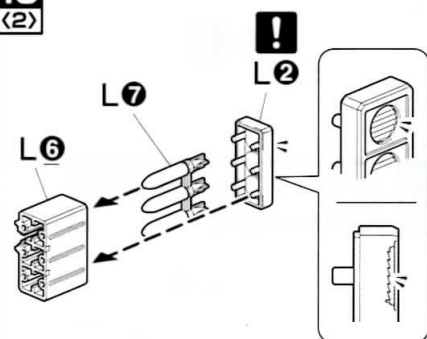
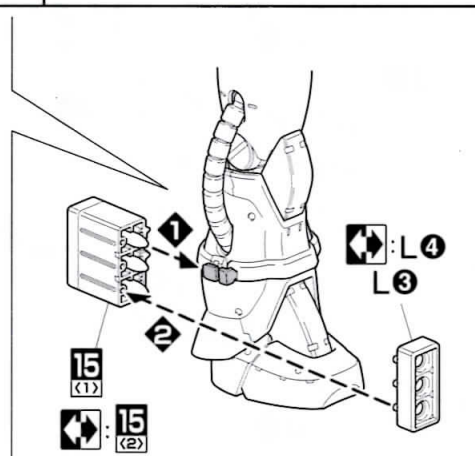
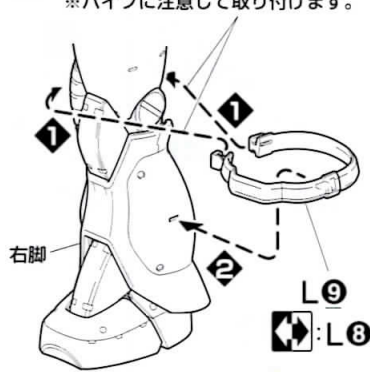
MISSILE POD
3連装ミサイル・ポッド

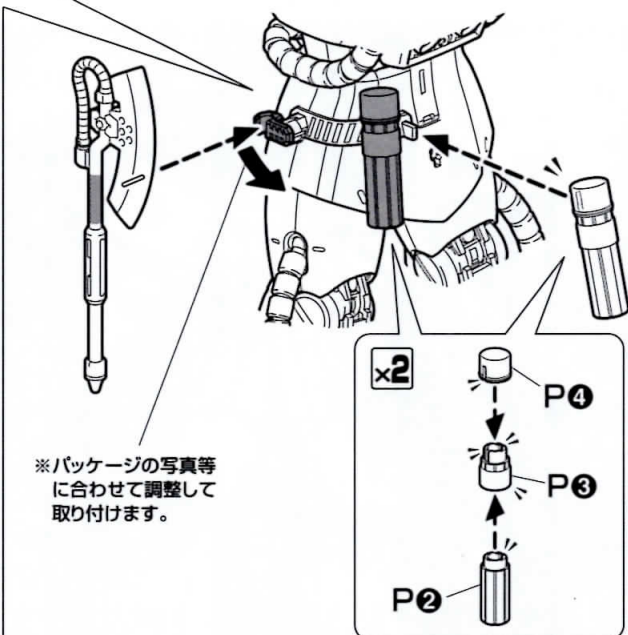
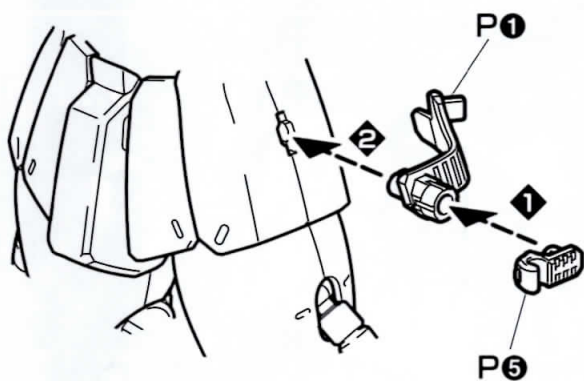
陸戦用にあつらえた3連装のミサイル・ポッド。専用のベルトで、脚部にマウントして使用する。機動目標よりも、大型目標の攻撃や、支援火器として用いられた。

S-MINE
Sマイン

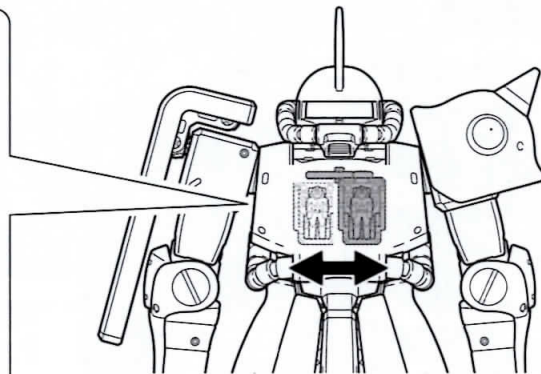
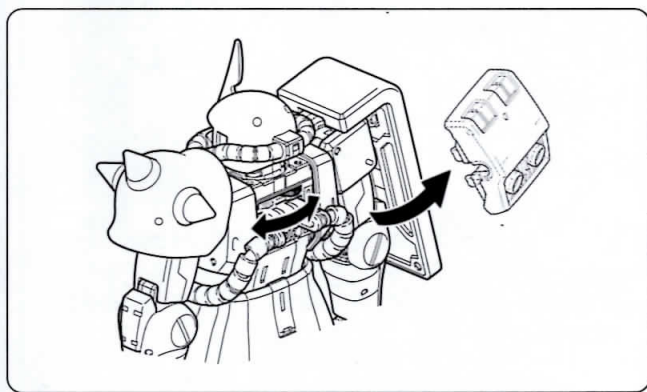
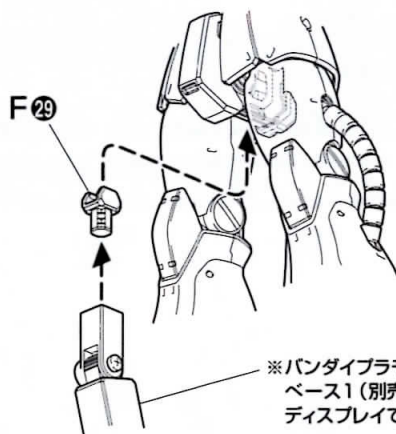
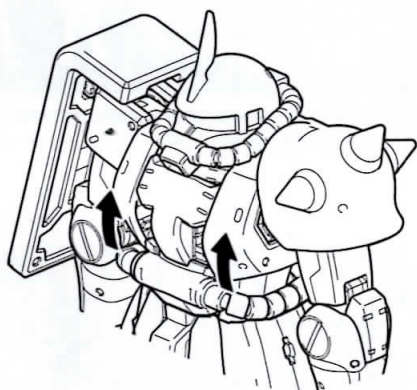
肩部や膝部等に装備された空中炸裂型対人地雷。主に対人防御として、使用される。

7 〈4〉
前
E❷ E❸ E❹ E❺ D❾ 6
7 〈5〉
※K❶·K❹は以下の手順で組み立ててください。
K❹
パイプスプリング
K❶
（最後に切り取る）
※パイプを図の位置まで一個ずつ移動します。
7 〈6〉
D❺ D❷ E❶ D❶ A㉕
前
8 〔左脚の組立〕 〈1〉 LEFT LEG
H⑬ G㉙ H⑯ H㉑ H⑮ H⑲ H❷
パチン
8 〈2〉
I⑩ I❽ PC❹ H⑳ H㉓
前
8 〈3〉
PC⑫ H❸ H❹ H⑪ D❹ I❶ I❸
前 後
後 前
前
14
※組立図中の記号説明
後から組み立てる
向きに注意して組み立てる
切り取る部分
両側に同じパーツを取りつける

8
〈4〉
8
〈3〉
E❸
E❷
前
E❼
E❻
D❾
6
8
〈5〉
※K❺·K❽は以下の手順で組み立ててください。
K❺
K❺
パイプスプリング
K❽
(最後に切り取る)
※パイプを図の位置まで移動します。
8
〈6〉
8
〈4〉
D❻
D❸
8
〈5〉
E❶
前
D❶
前
A㉕
9 10 WAIST UNIT
・組立9・10で使用するパーツ
A
B
F
PC-200
※組立図中の記号説明
後から組み立てる
向きに注意して組み立てる
切り取る部分

9 〈1〉〔腰部の組立〕 WAIST UNIT

9 〈2〉

10〔下半身の組立〕 LOWER BODY

11〔完成〕 FINAL ASSEMBLE

※B⑬は好みの場所に飾ってください。

※組立図中の記号説明
! 向きに注意して組み立てる
● 後から組み立てる

12 13 14 15 16 17 WEAPONS
・組立12・13・14・15・16・17で使用するパーツ
A
F
J
L
P
12 〈1〉 〔ザク・マシンガンの組立〕
ZAKU MACHINE GUN
A5
J16
J5
J11
J18
12 〈2〉
12 〈1〉
J8
J7
※きれいに
切り取ります。
J6
J15
13 〈1〉 〔ザク・バズーカの組立〕
ZAKU BAZOOKA
J14
J1
J10
J2
J4
J20
J19
13 〈2〉
A7
J3
13 〈1〉
J9
J17
※組立図中の
記号説明
後から
組み立てる
向きに注意して
組み立てる
切り取る
部分

14 〈1〉
12で作ったザク・マシンガン
13で作った ザク・バズーカ
(左手でも持てます)
J⑫
J⑬
14 〈2〉
15 〈1〉 〔ミサイル・ポッドの組立〕
MISSILE POD
L❶
L❼
L❺
15 〈2〉
L❷
L❻
15 〈3〉 (両脚に取り付けます)
※パイプに注意して取り付けます。
右脚
L❾
:L❽
:L❹
L❸
15 〈1〉
: 15 〈2〉
※組立図中の 記号説明
どちらかを選んで取りつける
切り取る部分
両側に同じパーツを取り付ける
反対側に取りつけるパーツ
向きに注意して組み立てる

16〔予備弾ケースの組立〕

※J⑫・J⑬は外しておきます。

17〈コクピットの可動〉

〈コクピットハッチの開け方〉

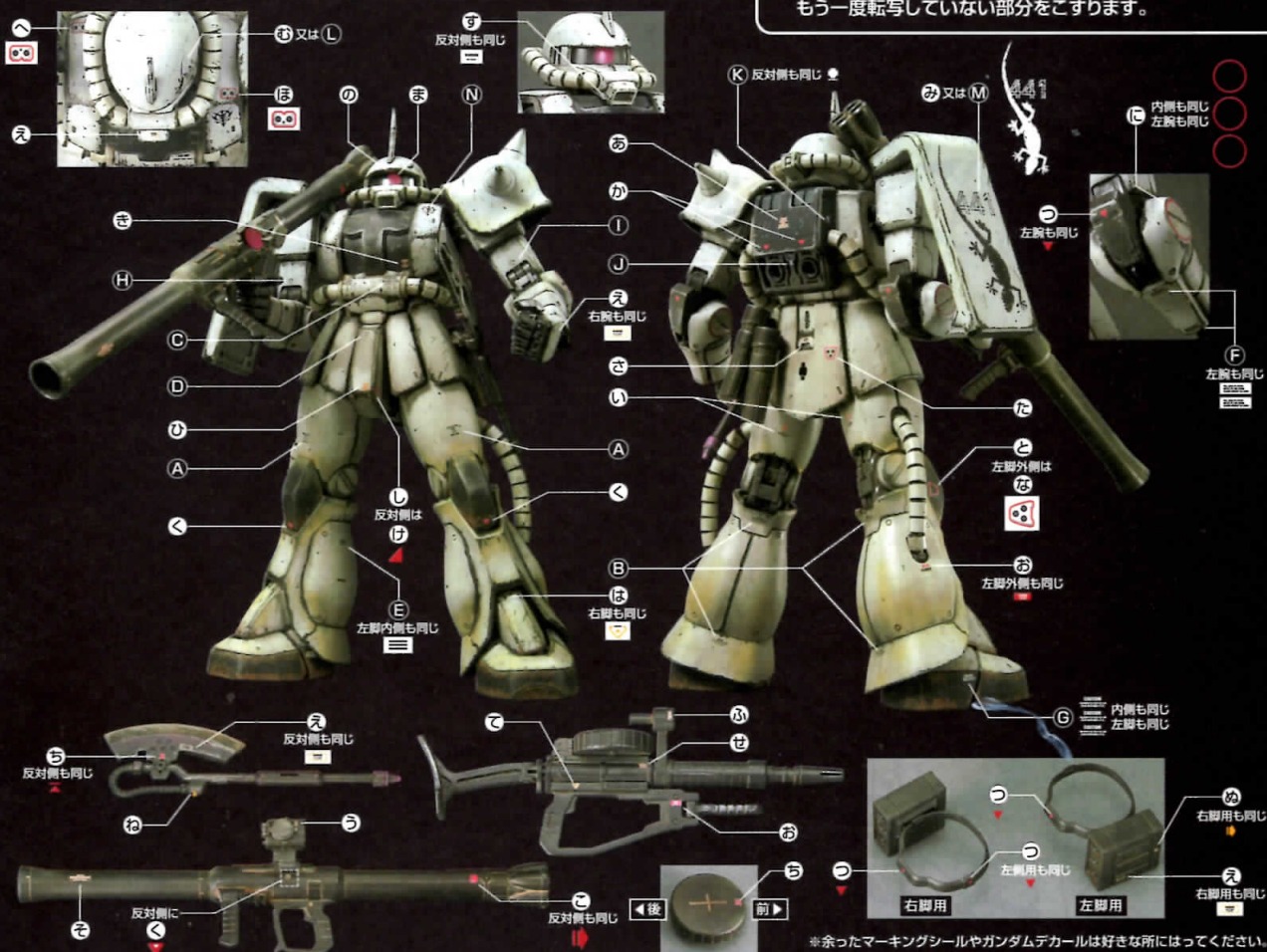
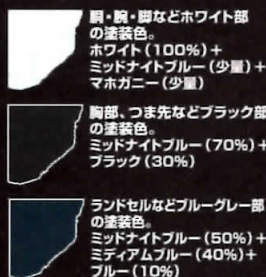
※組立図中の記号説明　×2 部品を数値の個数作ります

PAINTING & SEAL 〈塗装指示＆シール〉

下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

マーキングシールは「ひらがなの黒文字」、ガンダムデカールは「英字の白文字」で表記してあります。
【例】ⓐ・・・マーキングシール　Ⓐ・・・ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】

1. 転写するマークを大まかに切ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。

※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。

ザク ホワイトオーガー

- 胴・腕・脚などホワイト部の塗装色。ホワイト（100%）＋ミッドナイトブルー（少量）＋マホガニー（少量）
- 武器などブラック部の塗装色。黒鉄色（100%）
- 胸部、つま先などブラック部の塗装色。ミッドナイトブルー（70%）＋ブラック（30%）
- モノアイ、センサーなどピンク部の塗装色。蛍光ピンク（100%）
- ランドセルなどブルーグレー部の塗装色。ミッドナイトブルー（50%）＋ミディアムブルー（40%）＋ブルー（10%）

パイロット

- パイロット本体グリーン部の塗装色。ホワイト（55%）＋イエローグリーン（35%）＋ブラック（10%）
- ヘルメット等ホワイト部の塗装色。ホワイト（90%）＋イエローグリーン（5%）＋ブラック（5%）
- バイザーブルー部の塗装色。スカイブルー（100%）
- ヘルメット額部の塗装色。モンザレッド（100%）
- ランドセルの塗装色。ミディアムブルー（100%）

※MSイグルー2重力戦線の映像中にはパイロットは登場しません。写真の画像はジオン軍兵士の一般的なカラーリングです。

※よりリアルに仕上げたいかたは、上の基本色をご覧ください。
※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

ワンポイントステップ ～One point step～

スミ入れしてみよう！

ガンダムマーカー／スミ入れ用（別売り）などを使用して、キットのスジ彫りを塗装する事で、立体感、リアル感が増します。
右のウェザリング ワンポイントアドバイスと合わせてチャレンジしてみよう。

【before】

【after】

ウェザリング ワンポイントアドバイス！

MSイグルー2に登場するモビルスーツの特徴であるウェザリング加工に挑戦してみよう！別売りのウェザリングパステルやウェザリングマーカー、リアルタッチマーカー（株式会社GSIクレオスより発売）を使用して、表面のキズや土、泥の汚れなどを表現すれば陸戦用モビルスーツならではの雰囲気が出て、グッと立体映えするぞ!!